

がんから命を守りましょう

～大腸がんは検診で防ぐことができます～ 図ふれあいセンターTel 52-2000

がんは早期発見・早期治療がとても大切です。市では、市民の皆さんが安心して健診を受けられるよう、各種がん検診を実施しています。今回の特集では、砂川市立病院 消化器センター長 杉山雄哉 先生に「大腸がん検診の大切さ」についてお話を聞きました。



砂川市立病院 消化器センター長
すぎやま ゆうや
杉山 雄哉 先生



大腸がんは「身近ながん」

2023年の日本人における部位別のがん罹患数（新たにがんと診断される人数）を見てみると、大腸がんは男女合計で第1位であり、2024年の死亡者数でも第2位（女性では第1位）に位置しています（※）。このため、決して「自分には関係ない」と言えるがんではありません。

大腸がんには大きな特徴があります。それは、「早期発見できれば、ほぼ完全に治せる」という点です。だからこそ、検診による早期発見が非常に重要なのです。

※国立がん研究センターホームページより引用

大腸がんができるしくみ

大腸がんのほとんどは、「大腸ポリープ」と呼ばれる、腸の粘膜にできた良性のできものが長い年月をかけてがん化することで生じます。そのため、がんの芽となりうる大腸ポリープの段階で治療をすることが重要です。ただし、大腸ポリープが発見された場合でも、「すぐに全部取らなければならない」というわけではありません。ポリープ切除にも合併症があるため、サイズや形状によって切除するかどうかを判断し、必要であれば切除を行います。

症状がなくても検診を！

大腸がんのやっかいなところは、かなり進行するまで自覚症状が出にくいことです。血便や腹痛、体重減少などの症状が現れた段階では、すでにある程度進行していることも珍しくありません。つまり、決して「症状がないから大丈夫」ではないのです。症状がない段階でこそ、検診を受けることに意味があります。

大腸がんは、早期発見できれば十分に治せるがんです。そして、早期発見のために最も有効な手段が検診です。「症状がないから」、「忙しいから」と受診を先延ばししていませんか？

ぜひ今年の大腸がん検診を受けていただき、気になる結果が出た際には、お気軽に砂川市立病院の消化器内科へご相談ください。皆さんの健康を、スタッフ一同で全力でサポートします。

砂川市立病院は、地域がん診療連携拠点病院として厚生労働省より指定を受けています。専門的ながん医療を提供しているほか、院内の「がん相談支援センター」にて患者さんへの相談対応や情報提供を行っています。がん専門の相談員が在籍し、がんと診断された方やご家族の相談支援を行っていますので、ぜひご利用ください。

－ 検診の流れ－

一次検診：便潜血検査（2日法）

市の大腸がん検診では、40歳以上の方を対象に「便潜血検査（2日法）」が行われます。これは、採便キットを使用して自宅で2日分の便を採取し、便の中に微量の血液が混ざっていないかを調べる検査です。体への負担がなく、手軽に受けられるのが大きなメリットで、毎年継続して検査を受けることで大腸がんによる死亡リスクの減少が報告されている有効な検診です。

便潜血検査は手軽で安全な反面、検査の精度には限界があります。陽性となっても痔など他の原因のことも多く、必ずしも大腸がんがあるわけではありません。一方、陰性でも大腸がんの可能性を完全に否定できないため、気になる症状があるときはご相談ください。



市の大腸がん検診は40歳以上の市民の方が対象です。年に1回、定期的に検診を受けましょう！

二次検診：大腸内視鏡検査（大腸カメラ）

便潜血検査で陽性となった方には、大腸カメラによる精密検査をお勧めしています。カメラを使って大腸の内側を直接観察する検査で、実際に大腸がんがあるかどうか、また治療すべき大腸ポリープがないかどうかを確認します。



陽性だった場合は…

もし大腸ポリープが見つかったら

検査中に治療適応のポリープが発見されても、基本的にその場ですぐに切除は行いません。後日あらためて検査・治療の日を設け、原則として1泊2日の入院で切除を行います。ただし、ポリープのサイズが大きかったり、形状が複雑な場合には、より高度な内視鏡手技が必要になることがあります。この場合は、数日から1週間程度の入院が必要となります。また、すでに進行しているがんの場合は、外科手術や抗がん剤治療が必要となることもあります。

砂川市立病院での大腸内視鏡検査について

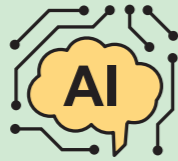
砂川市立病院では、最新の内視鏡・システムを備えており、今後は内視鏡画像診断支援 AI を導入する予定です。AI の導入により、医師の経験や技量による差を補い、以下のような均一で高水準な検査を提供できるようになります。

ポリープの発見率の向上

AI がリアルタイムで大腸の映像を解析し、医師の目だけでは気づきにくい小さなポリープの発見をサポートします。

ポリープの性質の判別支援

発見されたポリープが「切除が必要な腫瘍」か「経過観察でよい非腫瘍」かを AI が判定支援することで、より正確な診断が可能になります。



検診のことはふれあいセンターまでご相談ください！

ふれあいセンターでは、皆さんの健康づくりを支えるため、がん検診の受診勧奨や健康相談を行っています。令和8年度のがん検診の日程については、広報すながわ4月1日号に折り込みの「砂川市各種健（検）診の日程表」または右記 QR コードからご確認ください。検診について気になることや不安なことがありましたら、お気軽にふれあいセンターへご相談ください。



クイズに挑戦して健康ポイントを獲得！

すながわ健康ポイント事業にアプリで参加している方には、右記 QR コードからクイズに正解すると、1ポイント付与します。



※アプリ「オアリパ+」の健康ポイント画面から「ポイントを獲得する」をタップして、QRコードを読み取ってください。